

総合的な
学習の時間

自分たちの生活を見直そう

\ 関連するSDGs /

- ①氏名: 中尾 綾香
- ②学校名: 当別町立西当別中学校
- ③学年: 1学年 (25名)
- ④実施教科(領域): 総合的な学習の時間

9
INDUSTRY, INNOVATION
AND INFRASTRUCTURE

12
RESPONSIBLE
CONSUMPTION
AND PRODUCTION

13
CLIMATE
ACTION

15
LIFE
ON LAND

【実施概要】

1. 単元名(活動名): 自分たちの生活を見直そう
2. 単元の目標(評価規準を意識して設定): 日本のSDGs達成度を見て、2030年までに自分ができることを考えることができる。

3. 単元の 評価基準	①知識及び技能	日本とザンビアの生活を比べ、それぞれの生活の良さや課題について、SDGsと関連付けて理解している。
	②思考力、判断力、表現力	日本とザンビアの現状を知り、自分の生活とSDGsのつながりを考え、意見を伝えることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	SDGsは自分たちの課題であることを実感し、自分たちの行動に繋げようとしている。
4. 単元設定の理由・単元の意義(生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 当別町では、「当別町の歴史・文化・自然・科学等を知り、まちづくりへ参画する」生徒の育成を目指している。そこで、本校の総合的な学習の時間では、1年生でSDGsを学習し、2年、3年でSDGsの視点から当別町の未来を考える学習へと繋げている。今回の研修で、限られたものの中で生活するザンビアの人々と出会い、「ものがないこと＝幸せではない」とは限らないことに多くの場面で気付かされた。一方で、日本では多くの子供たちがものに溢れ、不自由のない生活を送っている。そこで、日本とザンビアが抱くSDGsの問題に対して、日本人とザンビア人の生活を文字や写真などで比較しながら、生徒たちに目に見えるものだけでなく、見えないものも感じ取ってもらいたい。また、SDGsに対して自分事として捉えられない生徒が多いと考えたため、生徒自身の生活を振り返り、自分には何ができるのかを考えるきっかけにしたいと思い、この単元を設定した。 【生徒観】 元気がよく、男女ともに仲の良いクラスである。生徒たちは6月にSDGsと17のゴールについて学習している。しかし、「SDGsは国単位で考えるもの」だと思っており、「自分ごと」だと感じている生徒は少ない。また、アフリカやザンビアの国々に対しても「発展途上国」「貧しい国」「貧困＝幸せではない」と感じている生徒も多い。 【教材観】 生徒たちは普段必要なものは簡単に手に入る便利な生活を送っている。しかし、世界にはそんな生活を送ることのできない人々もたくさんいる。今回は、子どもたちにとって身近な話題から、自分たちの生活とザンビアの生活を比べ、それぞれの生活の良さと課題に気づかせたい。ものに溢れる豊かな生活が良く、ものが足りない生活が悪いのか、SDGsの各項目に触れながら考えさせ、私たちの生活の中でもSDGsのゴール達成のために自分たちにできることは何なのかを考えさせたい。	

	【指導観】 生徒たちが予想した日本とザンビアの SDGs 達成状況をもとに、アクティビティを通してお互いの生活を比較し、本当にその予想は正解なのかを改めて考えさせたい。 また、実際に 2024 年の SDGs 達成度を見た後には、どうしてこのような結果になったのか、再度ザンビアと日本の生活を振り返り、生徒たち自身に考えさせたい。 どの国にもその国の良さがあって課題があること、SDGs のゴール 1 つ 1 つにその国に寄り添った課題解決方法が必要なことを考えたうえで、自分たちの生活を振り返る視点を育成させたいと考える。
--	--

3. 単元計画（全 3 時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1/3	ザンビアについて学ぶことができる。	○マッチングゲームやザンビアクイズを通して、ザンビアの国や日本との相違点、ザンビアの良さや課題を理解する。 ○日本とザンビアの SDGs 達成度について予想する。	写真 スライド資料 現地の購入品など
2/3 本時	日本とザンビアの取り組みを比較しながら、日本が 2030 年までに SDGs のゴールを達成するために、自分ができることを考えることができる。	○すごろくを通して、日本の生活とザンビアの生活を比較する。 ○日本が 2030 年までに SDGs のゴールを達成するために、自分たちに何ができるのかを考え、「行動宣言」を作成する。	ワークシート スライド資料
3/3	自分の生活を振り返り、冬休みに自分たちができることを改めて考えることができる。	○自分の生活を振り返り、前時で決めた「行動宣言」がどれくらい行動にうつせたのかを評価する。 ○「行動宣言」を改善し、冬休みに向けて新たな「行動宣言」を作成する。	ワークシート 冬休みの計画表

4. 本時の展開（ 2 / 3 ）			
本時のねらい： ザンビアと日本の生活を比較しながら、日本が 2030 年までに SDGs を達成するために、自分ができることを考えられる。			
過程・時間	○教師の働きかけ・発問および学習活動 ◎生徒の活動	指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
導入 (3分)	1. 前時までの学習内容を振り返る ○前時の達成度予想を共有する。 「日本とザンビアのそれぞれの SDGs 達成度予想を振り返ろう」	・前時を振り返り、本日の重点となる SDGs の目標を絞る。	・スライド資料
展開 (44分)	2. 本時の目標を伝える 日本とザンビアの生活を比べながら、日本が 2030 年までに SDGs のゴールを達成するために、自分ができることを考えよう。		

3. すごろくを通して、日本やザンビアの生活を体験する。 ◎4人1班になり、すごろくを行う。 4. すごろくからわかることを考える。 ◎日本とザンビアの生活を振り返り、良さや課題を考え、前時の予想から変化があるか考える。 ・個人→グループで交流→全体で共有 ○「日本とザンビアの SDGs 達成度を見てみましょう」 ・日本が達成済み：SDGs 9 ・ザンビアが達成済み：SDGs 12, 13 ・どちらにも課題が残る：SDGs 15 5. 日本とザンビアの SDGs 達成度合いの理由を考える。 ○「ザンビアの SDGs 12 が緑（最高評価の達成度を示す）になったのはなぜでしょう。すごろくで使用したカードを見て、考えてみましょう」 ◎すごろくで使用したカードから SDGs 12 に関わるものを選び、考える。 ・ごみ収集の環境が十分ではない。 ・使い捨てレジ袋が禁止。 ・壊れたものは捨てずに修理して使用する。 ・ないものは自分たちで作る。 など ○「日本の SDGs 12 が緑ではない理由はなぜでしょう。すごろくで使用したカードを見て、考えてみましょう」 ◎すごろくで使用したカードから SDGs 12 に関わるものを選び、考える。 ・レジ袋の消費量について。 ・輸入品の多さ。 ・プラごみ排出量。 ・食品ロス。 など ○「日本がザンビアから学ぶことはなんだろう？」 ◎ザンビアの良さと日本の課題を比べて、SDGs の達成に向けて日本が改善しなければいけないことを考える。 ・個人→グループで交流→全体で共有 6. ザンビアの SDGs 達成に向けた取り組みを紹介する。 ○「SDGs の達成に向けて、ザンビアが取り組んでいることを見てみましょう」 ・レジ袋禁止 ・象の孤児院 ・バナナペーパー	・日本とザンビアを比べてよい悪いではなく、それぞれに課題があることに意識できるように促していく。 ・生徒の発言によって扱う SDGs のゴールを絞る。 ・カードの結果から何がわかるのか、ザンビアの良さに気付かせる。 ・カードの結果から何がわかるのか、日本の課題に気付かせる。 ・ザンビアの取り組みが日本でも同じようにできるのか、同じ取り組みをすると SDGs の項目にどのような変化が起きるのかに気づかせる。	・すごろく等の配布 <u>参照：144～149 ページ</u> ・ワークシートの配布 <u>参照：150、151 ページ</u> ・スライド資料
--	---	---

	7. 2030年までに日本がSDGsを達成するために、できることを考える。 ○「日本が SDGs の各ゴールをより緑に近づけるために、自分たちができることを考えてみよう」 ◎個人で考え、グループで交流する。 ・今すぐにできること／大人になったらできること ○全体で共有する。 ○「今の話し合いを参考に、『自分の SDGs 宣言』を作成しましょう」 ◎個人で『自分の SDGs 宣言』を作成する。 ○「今作成した『SDGs 宣言』を意識して約2週間過ごしてみましょう。」	・自分の生活とSDGsを結び付けながら、何ができるか様々な視点から考えられるように促していく。	
まとめ (3分)	8. 振り返り ○「今日の感想を記入しましょう」	・ワークシートを回収する。	・ワークシート
5.評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ザンビアや日本の生活を比較しながら、日本が2030年までにSDGsを達成度するために、自分ができることを考えることができる（観察・ワークシート）			

【参考資料】

- ・日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>
- ・The Sustainable Development Report 2024 <https://dashboards.sdgindex.org/>
- ・SDGs media <https://sdgs.media/>
- ・One Planet Paper <https://oneplanetpaper.com/>
- ・Edu Town SDGs <https://sdgs.edutown.jp/>
- ・SDGs Connect <https://sdgs-connect.com/>
- ・在ザンビア日本国大使館 https://www.zm.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ・SDGs すごろくを扱った各ホームページ
- ・「Chabwino Times」【現職ザンビア派遣隊員発行の学校だより】JICA 海外協力隊員 松本拓哉氏

【自己評価】

苦勞した点	・私自身が現地でザンビアの良さを感じてきたからこそ、子どもたちが「やっぱりアフリカは…」と感じないような題材選びと活動の設定に時間がかかった。 ・すごろくでは、生徒の生活で身近なものを題材にテーマや写真選定を行った。
改善点	・すごろくのルール説明を簡潔にわかりやすく行うため、スライドは文字だけではなくカードの画像を挿入した。また、すごろくは限られた時間内での活動になるので、スタート／ゴールではな

	く「ループ型」にした。 ・すぐろくのカードに書いてある情報量が多いので、すぐろく内で扱う情報とその後で扱う情報を分けた。 ・SDGs 達成に向けての取り組みについて、日本でできる取り組みがザンビアではできない環境もあることに触れ、理想論で終わらせないようにすることが大切だと感じた。
成果が出た点	・ザンビアと日本のそれぞれの国の良さと課題に気づき、考えさせることができた。 ・環境が整っている＝SDGs を達成している、ではないことに気づく生徒が増えたように感じる。また、生徒の感想からは SDGs の達成に関して、環境と経済発展のバランスや先進国と発展途上国の取り組みの差について触れている生徒も数人いたことは良かったと思う。
学びの軌跡 （児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等）	生徒の感想から ・日本よりザンビアの方が SDGs を達成している数が多いことにおどろいた。日本には物があまりすぎていて、ザンビアにはゴミが多かった。 ・日本はけっこう SDGs が達成できていると思っていたけれど、あまり達成できていなくておどろいた。自分にできることはできる限りしていきたい。 ・人は生活が豊かになればなるほどわがままになり、自分のことだけを考えるようになるのだと感じた。先進国が意識的に環境への対策を行わなければ温暖化はさらに加速していくと思う。発展途上国のサポートをしながら、自然と共存していくことが経済発展をとげた先進国の責任だと考えた。
授業者による自由記述	子どもたちは社会科の中でアフリカの国々について学んでおり、ある程度のイメージをもって授業に臨みました。今回は、子どもたちがもっているアフリカのイメージから離れて、別の視点からザンビアと日本を見つめて考えてほしい、という思いからこの授業を考えました。 ザンビアの人々と出会い、現地の生活を見て、感じてきたからこそ、伝えたいことが溢れてまとまらず、この指導案を作成するまでに、たくさん悩みました。こんなに悩んだ指導案作りはおそらく初めてでしたが、橋詰アドバイザーや JICA のみなさん、水谷アドバイザー、一緒にザンビア研修へ参加したみなさんからのアドバイスをいただき、なんとか形にすることができました。 この授業を大切にしながら、今後も研修を深めていきたいと思います。 こんなに素敵な経験と出会いの場を設けていただき、本当にどうもありがとうございました。

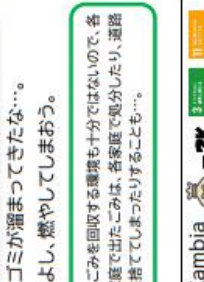
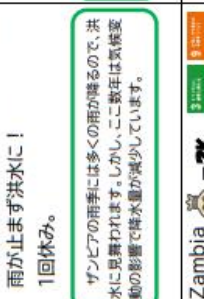
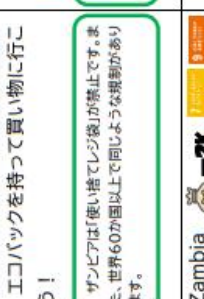
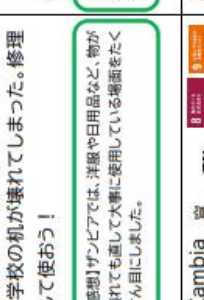
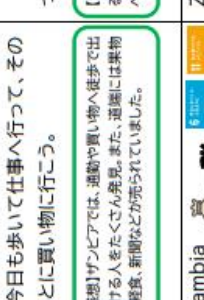
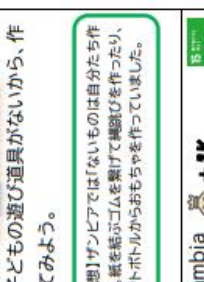
(教材：すごろく盤面 実物は A3 サイズ)



(教材：ザンビアのお金「クワチャ」)



(教材：ゾンビアカード オモテ面)

 Zambia 賞 -3K	 Zambia 賞 0K	 Zambia 賞 +1K	 Zambia 賞 +1K	 Zambia 賞 0K	 Zambia 賞 +1K
ゴミが溜まってきた…。よし、燃やしてしまおう。 ごみを回収する環境も十分ではないので、各家庭で出たごみは、各家庭で処分したり、道路に捨ててしまったりすることもある。	雨が止まず洪水に！1回休み。 ザンビアの雨季には多くの雨が降るので、洪水に悩まれます。しかし、ここ数年は気候変動の影響で降水量が減少しています。	エコバックを持って買い物に行こう！ ザンビアは「使い捨てレジ袋」が禁止です。また、世界60か国以上で同じような規制があります。	学校の机が壊れてしまった。修理して使おう！ 【感想】ザンビアでは、洋服や日用品など、物が壊れても道で大事に使用している場面をたくさん目にしました。	今日も歩いて仕事へ行って、そのあとに買い物に行こう。 【感想】ザンビアでは、通勤や買い物へ徒歩で出かける人をたくさん見ました。また、道端には食べ物や軽食、新聞などが売られていました。	子どもの遊び道具がないから、作ってみよう。 【感想】ザンビアでは「ないものは自分たちで作る」。紙を貼って木箱を繋ぎ合わせて作ったり、ペットボトルからおもちゃを作っていました。
 Zambia 賞 -2K	 Zambia 賞 -2K	 Zambia 賞 -2K	 Zambia 賞 -2K	 Zambia 賞 -2K	 Zambia 賞 +1K
風邪をひいて病院に行きたかったが、近くに病院がないため諦めた。 ザンビアでは最初に地元の医療機関を受診し、紹介状があれば大学病院などさらに医療体制の整った病院へ行くことができます。	病院へ行こうと思ったら前日の雨で道がぬかるんでいて行けなかった。 ザンビアには最寄り病院まで数キロあり、自転車や徒歩で行かなければならない地域もあります。	携帯電話を充電しようと思ったら計画停電中で充電できなかった。 ザンビアの電気利用率は、46%ですが、都市部と地方には大きな差があります。また、電気の80%以上が水力発電に頼っています。	銅を生産したが、加工技術がなかった…。 ザンビアは銅の生産量世界第7位など資源が豊富で、加工技術が良くない。そのため、多くの生活用品を輸入に頼っており、物価が高い。	育てていた作物が象に食べられてしまった。象を退治してしまおう。 農村や居住区の拡大や気候変動による食料不足などに伴い、象が居住区に出没し、家や農地を破壊したり、人に危害を加えたりすることが問題になっています。	国立公園に行ったら野生のキリンに会えた！ ザンビアには9つの国立公園があり、野生のキリンや象、ライオンやカバに会うことができます。
 Zambia 賞 +3K	 Zambia 賞 -1K	 Zambia 賞 -1K	 Zambia 賞 -2K	 Zambia 賞 -2K	 Zambia 賞 -2K
お昼ご飯の時間。必要な分だけ畑から取ってきて料理しよう。 ザンビアの食糧自給率は、86%と高く、とくに農村部では自給自足で生活している人がたくさんいます。	首都リサカを離れると、ネットの通信速度が遅くなってしまった。 ザンビアのインターネット普及率は、52.2%です。農村部やコロナの影響で仕事を失った人々にとっては、インターネットは身近なものではありません。	象の牙は高く売れるらしい。アフリカゾウを密猟してしまおう。 1960年代には約25万頭の象がザンビアにいましたが、現在は約2万1000頭しかいません。1989年にはその象牙の約67%が日本へ輸出されていました。	実験道具がそろっていないで理科の実験ができない。 ザンビアには、実験室がなかったり、必要な材料がなかったりすることで、教育の質が低下していることが多くあります。	象を退治してしまおう。 農村や居住区の拡大や気候変動による食料不足などに伴い、象が居住区に出没し、家や農地を破壊したり、人に危害を加えたりすることが問題になっています。	仕事がない…。違法だけれど、木を伐採して売ればなんとかなる。 ザンビアでは、農地や住宅地として土地を活用するために多くの木々が伐採されています。また、商業用として違法な森林伐採も進んでいます。

(教材：日本カード オモテ面)

Japan  +3K  今日は燃えるごみの日だ。 分別して捨てよう！	Japan  ∞  気候変動で北海道にも台風が上陸！1回休み。	Japan  -1K  買い物に來たけれど、エコバックを忘れてしまった！	Japan  -2K  しまった！テレビも電気を付けっぱなしで寝てしまった！	Japan  -1K  ちょっと近くのコンビニまで買い物。寒いから車で行こう。	Japan  +2K  札幌まで買い物。車じゃなくて、公共交通機関で行こう。
Japan  -3K  国産のお肉よりも、外国産のお肉が安いから、外国の鶏肉を買おう。	Japan  -1K  友達と遊ぶから、お菓子を持っていこう。個包装だから分けやすい！	Japan  +2K  理科と数学の勉強をがんばった！	Japan  -1K  朝ごはんはパンとコーヒー。全部外国産！	Japan  +1K  昨夜雪がすごかったのに、朝起きたら除雪されていた。	Japan  +1K  グリーンマークがついているノートを買った。
Japan  -3K  おなかがいっぱいで給食を残してしまった。	Japan  -1K  札幌行ったらテンション上がって、必要のないものまで買ってしまった。	Japan  -1K  100均で買った消しゴムをまた失くしてしまった。もう1度買わなきゃ。	Japan  +2K  学校の配布物が、メール配信になった。プリントが減ってラッキー！	Japan  -1K  お祭りで捕ったミドリガメ。飼えなくなったし、近くの川へ放流！	Japan  -1K  海外の安い木材を使用して、新しい家を建てよう！

(教材：クイズカード オモテ面)

クイズカード 問題 ザンビアと日本、面積が大きいのはどっち？ 答え ザンビア(日本の約2倍の大きさ)	クイズカード 問題 ザンビアの平均寿命は次のうちどれ？ A.70 歳 B.60 歳 C.50 歳 答え B.60 歳(61.8 歳)	クイズカード 問題 ザンビアの年齢別の人口比、1番多い年齢層は？ A.0～14 歳 B.15～24 歳 C.25～64 歳 D.65 歳～ 答え A. 0～14 歳(46.2%)	クイズカード 問題 ザンビアから日本へ輸入した銅は、身近なあるものに使われています。さてなんでしょう？ 答え 10円玉	クイズカード 問題 日本の死因1位は何でしょう。 A.がん B.交通事故 C.HIV D.かぜ 答え C.HIV	クイズカード 問題 ザンビアの死因1位は何でしょう。 A.がん B.交通事故 C.HIV D.かぜ 答え C.HIV
クイズカード 問題 日本からザンビアへの輸出品第1位は何？ 答え 自動車(約70%)	クイズカード 問題 日本とザンビアの時差は何時間？ 答え 7時間	クイズカード 問題 ザンビアで人気のスポーツは何？ 答え サッカー	クイズカード 問題 北海道には14か所の空港がありますが、ザンビアにはいくつある？ 答え 10か所	クイズカード 問題 ザンビアでは「マラリア」という感染症に気を付けなければいけません。「マラリア」を運んでくる生き物は？ 答え 蚊(蚊に刺されると感染する)	クイズカード 問題 ザンビアにある国立公園の数は？ 答え 9つ。象やライオン、キリンやカバなどの野生動物に会えます。
クイズカード 問題 ザンビアの携帯電話所有率は？ 答え 約 80%	クイズカード 問題 ザンビアの道路舗装率は？ 答え 約 15%(都市部は舗装された道路が多いが、地方へ行くと舗装の道路が多い。)	クイズカード 問題 ザンビアの中等教育への進学率は？ 答え 約44%。(授業料は無償だが、家の手伝いや学校数の不足により進学率が低い)	クイズカード 問題 ザンビアの初等教育への進学率は？ 答え 約 96%(授業料は無償。1クラス100人程になったり、教科書など教材が足りなかったりしている)	クイズカード 問題 ザンビアの学校、1時間目の開始時間は何時？ 答え 7時！(明るく涼しい時間から授業を行います)	クイズカード 問題 ザンビアの学校、1時間目の開始時間は何時？ 答え 7時！(明るく涼しい時間から授業を行います)

(教材：各カードのウラ面)



ザンビアカード ウラ面



日本カード ウラ面



クイズカード ウラ面

(教材：ワークシート オモテ面)

SDGs について考えよう



1年()組 名前()

1. 日本とザンビアの生活の良さや課題を振り返ってみよう

日本 の 良 さ		ザ ン ビ ア の 良 さ	
日本 の 課 題		ザ ン ビ ア の 課 題	

2. 日本がザンビアから学ぶこと

--

3. 2030年までに日本が SDGs の目標を達成するために、自分たちができることを考えましょう。

今すぐ できること	
大人になって できること	

(教材：ワークシート ウラ面)

私の SDGs宣言

--

4. 今日感じたことなどを書こう。

--

進行中 スライド



前回の授業の振り返り

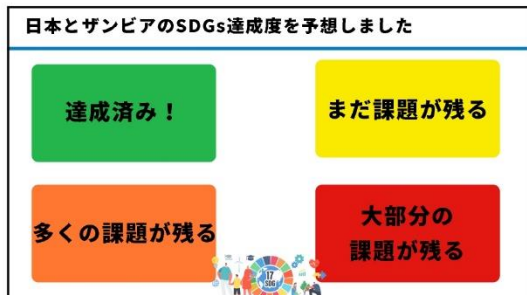
日本とは生活の仕方でも食事でも違うけれど、制服をきていた生徒の子たちは楽しそうで、その国にはその国なりの幸せがあると改めて思った。このような子たちを少しでも増やすためにSDGsは大切に意味があると感じた。

ザンビアと日本では多くの違いがあり、比べた時にザンビアは生活面で多くの不便があるが、日本はあまりなく、日本はやはり裕福な国だと思った。



日本食はあるんですか。

INDONESIA
Indonesia is a country with over 17,000 islands, 250 million people, and a rich culture.



Today' s goal

日本とザンビアの生活を比べながら、日本が2030年までにSDGsのゴールを達成するために、自分ができることを考えよう。

ルール

ここに書いてあるお金「クワチャ」のやりとりをします。

ここに書いてある文章を必ず読みましょう。

今日は燃えるごみの日だ。分別して捨てよう！

日本のごみ処理は主に、①燃やして灰を捨てる、②そのままだけ、③リサイクル、の3パターンがあります。

日本とザンビアの生活を比べてみよう

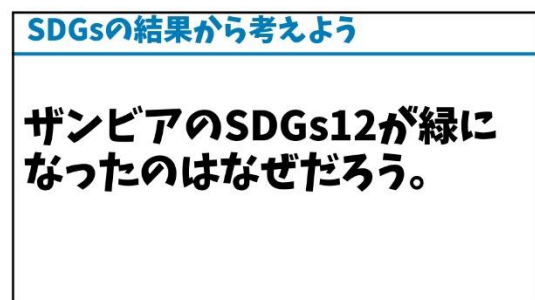
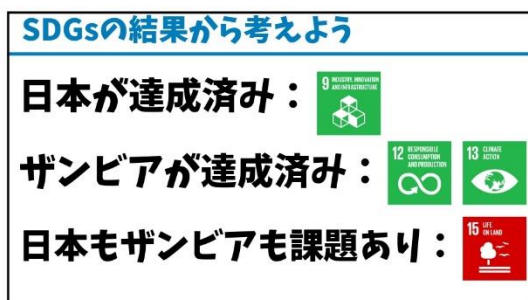
すごろくをやってみて、わかったことはなんだろう？

みんなのSDGs予想

2024年 SDGs達成度

みんなの予想

2024年 SDGs達成度



ザンビアの取り組み①



**2018年
レジ袋の使用を禁止**

ザンビアの取り組み②



母親が密猟された子どもの象を野生へ帰す保護施設

ザンビアの取り組み③



バナナペーパー
今までは収穫時に廃棄されていた茎を使って紙を作る

ザンビアの生活や、取り組みを聞いて…

SDGs達成のために、自分たちにできることは何だろう？

2024年 SDGs達成度



旅

の

思

い

出

わたしの一枚

タイトル：

つながり



写真を撮った場所：

カニヤマ1次レベル病院

初日に訪れたコンパウンドの中にある病院。ここで活動をしているJICA協力隊員に案内をしていただいた。病院の建設に日本からの支援を受けたそうで、給水塔にはザンビアの国旗と一緒に日本の国旗も描かれている。病院の中にある機器にも日本の国旗を見ることができた。また、写真内の車を含めて、ルサカ市内を走っている車のほとんどが日本からの中古車だった。遠い国だったザンビアが急に近くに感じられたきっかけの1枚。

滞在期間中、ザンビアと日本のつながりをいたるところに感じることもできた。きっと世界には私が知らないだけで日本とつながっている国がたくさんある。グローバル化、という言葉だけで世界とのつながりを理解した気持ちにならず、自分の目で「つながり」を感じたいと思った。

氏名： 中尾 綾香

学校名： 当別町立西当別中学校